

平成30年度特定非営利活動法人地域情報モラルネットワーク

平成30年度事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

平成30年度は、情報化社会の発展を図る活動6件と、社会教育の推進を図る活動4件である。これらの10件の事業は特定非営利活動に係る事業で、その他の事業はなし。

1. 事業名 (定款に記載した事業) : 情報化社会の発展を図る活動

(1) 具体的な事業内容 : 「neuis 学習会」

実施日 平成30年8月18日(日) 15時30分から17時00分

会場 : 仙台市市民活動サポートセンター 研修室3

仙台市青葉区一番町4丁目1-3

主催 : 特定非営利活動法人地域情報モラルネットワーク

「情報セキュリティ5か条講座」

話題提供者 : NEUIS 理事長 小島 正美 氏

概要 : 当NPO団体は、2018年3月16日「情報セキュリティ5か条」に取り組むことを宣言しました。IPAからSECURITY ACTION 一つ星のロゴマークを使用することができます。それにともない、会員の皆様には次の5か条を実践していただきたく、学習会を開催いたします。なお、当日受講した方にはSECURITY ACTION 一つ星マーク入りの受講証を、モラルネットワークから受講したという証で全員に配布しました。

受講者 : 8名

(2) 具体的な事業名 : インターネット安全教室 講師トレーニング (東京)

平成30年5月25日(金) 10:00~17:00、会場 : フクラシア八重洲

に、neuisから小島理事長が参加しました。交通費は主催者IPA, JNSA側で負担
グループAからEの5つの班に分かれて、小島はグループCで参加しました。

午前

講義のテーマ : 講座紹介/グループ内自己紹介、アイスブレイク
インターネット安全教室講師資料ご紹介とSNSに関する追加資料
の解説

休憩

午後

講義のテーマ : IPA新規ビデオ映像2本と講師用資料のご紹介
インターネットサービスの不正ログイン対策

ネット家電セキュリティ対策

休憩
: 最近のサイバーセキュリティ脅威について

休憩
: インターネット安全教室How to Teach
グループ毎に、インターネット安全教室の講義資料の作成
課題に対する解決策とクイズを考えて作成し、それを発表
する演習を行いました。

(3) 具体的な事業名：「インターネット安全教室 講師トレーニング 仙台」

実施日：平成30年9月 15日（土）13：30～17：00
平成30年9月16日（日）10：30～16：00

会場：東北工業大学八木山キャンパス9号館911教室
(仙台市太白区八木山香澄町35-1)

主催：独立行政法人情報処理推進機構・NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
共催：NPO 法人地域情報モラルネットワーク

受講者：32名

受講対象者：「インターネット安全教室」の講師をされる方
地域で情報セキュリティ普及啓発に関わる方
パソコン教室等で講師として活動中の方や講師を目指したい方

[概要] 受講者に、講師としての知識・テクニックを習得していただくためのトレーニングを行った。

(4) 具体的な事業名：「インターネット安全教室」

実施日：平成30年12月1日（土）14：00～16：10

会場：東北工業大学一番町ロビー2階

主催：特定非営利活動法人地域情報モラルネットワーク・独立行政法人情報処理推進機構

共催：NPO 日本ネットワークセキュリティ協会、東北工業大学工学部情報通信工学科 角田研究室

後援：情報セキュリティ政策会議、警察庁、宮城県警察本部、宮城県教育委員会、
仙台市教育委員会、TBC 東北放送、河北新報社

従業者の数：3名（neuis から）宮城県警察本部2名

受益対象者の範囲および人数：仙台市民、宮城県 38名

【主催者の所感（運営・要望）】総勢43名中、大学生15名、一般20名、モラルネットワーク8名という構成でした。アンケートの結果から、大変分かりやすく有意義だったという声

が圧倒的でした。学生さんの発表に対して質問はなかったのですが、質問をすることがないほど、とても分かりやすく話されました。警察のお話しでは、当日の発表スライドを資料として配布することにより、話がより説得力が増したものと思われま

参加者は総勢で43名

- (5) **具体的な事業名：第13回情報教育シンポジウム**
「不登校問題の本質を考えてみよう ～子は宝 果たそう大人の責任～」
コーディネータ 阿部伸一氏 (NEUIS 副理事長)
講師：相澤頼三郎氏 (NPO法人ぞうさんの家理事、元仙台市立榴岡小学校長)
実施日：平成30年11月10日(土) 14時30分～16時35分
会場：仙台市戦災復興記念館 4階第2会議室
主催：NEUIS
後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、TBC 東北放送、河北新報社
参加者 27名

【概要】1部で、今、学校では教室に通えず、保健室・空き教室・校長室などで手のすいた教師による補習学習に集まる子供たちがいます。このような不登校問題の本質を考慮するための相澤頼三郎先生からの講演があり、2部で講演者と参加していただいたフロアーの皆様と活発な意見交換を行いました。

- (6) **具体的な事業名：宮城県高度情報化推進協議会助成金事業**

確定助成金：9,000円

ビッグデータと人工知能によるICTが拓く一般市民の未来生活

講師：川添良幸氏 (東北大学未来科学技術研究センター

シニアリサーチ・フェロー、NPO科学協力学際センター代表理事)

実施日：平成31年2月10日(日) 15:30～16:40

実施場所：仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール

主催：特定非営利活動法人地域情報モラルネットワーク

後援：宮城県高度情報化推進協議会・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・河北新報社・TBC 東北放送

参加者：60名

【概要】東北大学未来科学技術共同研究センター、シニアリサーチ・フェロー川添良幸先生に、次のような概要で講演していただいた。「人工知能は、米軍研究所が70年代に戦場で自国の兵士を死なせないことを主目的に大規模な研究が行われた結果として、その基本的な進展を見ました。5年に10倍という計算機ハードウェアの進展と最近の深層学習がさらに大きな可能性を拓いています。顔認証はSNSでは日常のこととなり、IBMのソフトがチェスの名人より強くなり、それは止まることを知らない勢いです。完全自動運転はともかく、事故を減らすための技術やスマートスピーカーは我々の未来を明るくしてくれる技術に違いありません。」ICTの基礎技術から最近の応用までを平易に解説していただいた。

【成果】大変参考になったという感想が多く寄せられた。講演内容が、ビッグデータ、AIと

いうことで、一般の市民・県民には、少々難しい話しでしたが、**AI**の活用により一般市民の生活はどのように変わるかということをお話されたので、もっと時間をかけて、講演を聴きたかったという声が多かった。**AI**の普及だけでは人間の幸せを得ることは難しく、**AI**を人間がどのように活用していくかが大事であることを、あらためて教えられた。

事業名（定款に記載した事業）：社会教育の推進を図る活動

(1) 具体的な事業名：特別講演

介護をストレスにしない方法 ～ストレスを力に

講師：佐野 幸子氏（TOS健康企画代表）

実施日：平成30年6月10日（日）15：30～16：45

実施場所：太白区中央市民センター 大会議室

主催：NPO法人地域情報モラルネットワーク

[概要] I 認知症のこと II 介護ストレス III ストレスの構造 IV ストレスを力に、という

ことで、認知症への対応は、1 驚かせない 2 急がせない 3 自尊心を傷つけないということが大事。ストレスを生みやすいパーソナリティとして、生真面目・完璧義務感・誠実な要求が高い、神経質・心配性・不安症・思い込みやすい・妄想的、衝動性・逸脱性・攻撃的・短期。ストレスを生みやすい行動特性として、自分を抑えて人にあわせる、人に察しを求める、問題を見ないようにする。ストレスの身近な対処方法では、到底できないことで悩んだりしないことで、ストレスを力にするには、矛盾する感情（アクセルとブレーキ）を少なくするとか、たくさんのお話を、学びました。

参加者 約20名

(2) 具体的な事業名：平成30年度「第1回全国連絡会議」に参加

平成30年7月23日に東京で JNSA の全国連絡会議が開催され、neuis から小島理事長が参加しました。交通費は主催者 IPA, JNSA 側で負担。

日時：平成30年7月23日（月）13：30～17：00

会場：フクラシア東京ステーション 6階B会議室

東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル5F

開会挨拶 IPAセキュリティセンター企画部

セキュリティリテラシー支援グループ

小宮 弥生 氏

IPA新規映像のご紹介

JNSAセキュリティ啓発WGリーダー 山田 英史 氏

休憩

講演「どう伝える？一般消費者が会うサイバークライムの現状

BBソフトサービス 山本 和輝 氏

休憩

意見交換（今年度の活動予定について）

閉会の挨拶 JNSA事務局長 下村 正洋 氏

閉会

（３）具体的な事業名：平成３０年度「第２回全国連絡会議」に参加

平成３１年２月２５日（月）東京で JNSA の全国連絡会議が開催され、neuis から小島理事長が参加しました。交通費は主催者 IPA, JNSA 側で負担。

日時：平成３０年２月２５日（月）１３：３０～１７：００

会場：フクラシア東京ステーション ５階 K 会議室

開会挨拶 IPA 技術本部セキュリティセンター企画部

セキュリティリテラシー支援グループ

小宮 弥生 氏

今年度の事業報告

JNSA 事務局 林 佳子 氏

共催団体の紹介 ２団体

KOBE ネット企画 大槻 恒男 氏

Anywhere 斎藤 聖悟 氏

休憩

来年度の事業説明と質疑応答（IPA）

IPA セキュリティセンター企画部

セキュリティリテラシー支援グループ

小宮 弥生 氏

休憩

意見交換 今年度の反省点、今後の課題など

閉会に挨拶

JNSA 事務局長 下村 正洋 氏

終了後、懇親会に参加

（４）具体的な事業名：日本コミュニケーション学会平成３０年度東北支部

定例会で発表

日 時：平成３１年３月２４日 １３：００～１６：００

会 場：東北工業大学一番町ロビー ２F ホール

仙台市青葉区一番町 1-3-1 (TM ビル)

発表タイトル：児童・生徒の不登校・いじめ問題の本質

～文部科学省平成 24-29 年度宮城県分の統計調査の分析から～

発表者：小島正美（NPO 法人地域情報モラルネットワーク）

会場は仙台なので、旅費不要

[発表概要] いじめ・不登校問題について、その本質を探る目的として、文部科学省による平成 24-29 年度の統計データを基に、「不登校」、「いじめ認知件数」、「いじめ認知校数」それぞれと、「冷やかしからかい」、「仲間はずれ」、「対教師暴力」、「児童・生徒間暴力」など 11 項目と相関を求めた結果、小、中では「不登校数」と「いじめ認知校数」との相関が 0.95、0.91 と高い相関が得られた。「いじめ認知件数」と「冷やかしからかい」の相関では、小、中、高で、0.92、1.0、0.89 とそれぞれ高い相関係数が得られた。このことから、「いじめ問題」の解決には他者との対峙が重要であり、その取り組みとして、地域・学校・家庭が連携して対応する必要性を述べる。

以上